



NPO 法人

八幡たけくらぶ

会報 第8号

創ろう！

自然豊かな環境・

受け継ごう次世代へ！

2017年～2018年 竹に親しむ仲間の活動記録

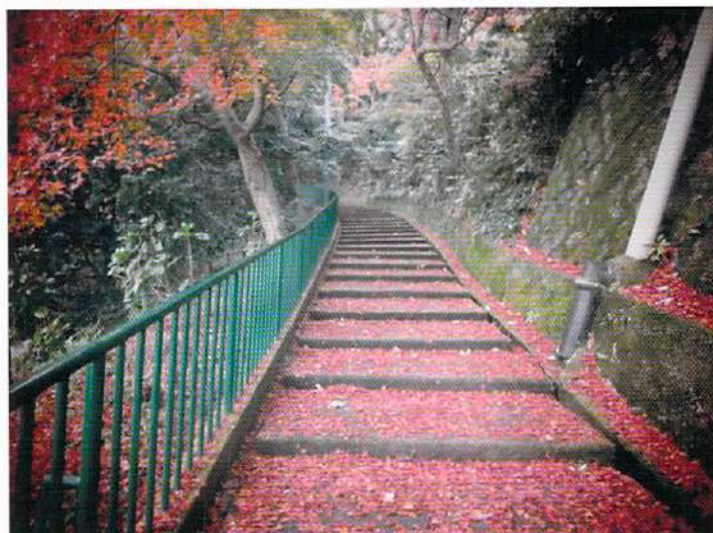
八幡たけくらぶ

活動基本方針

- 1 八幡市及びその周辺の里山あるいは竹林を、本来の景観に取り戻し、竹林と雑木林の共生を図り、かつ維持するようにボランティア活動をする事。
- 2 里山あるいは竹林の所有者との合意に基づき、景観保全のために以下の活動を行う。
 - ① 該当地区の植生調査、生態観察
 - ② 竹林の間伐、除伐、下草刈り作業
 - ③ 廃材の処分及び有効活用
- 3 廃材としての竹材の有効活用を通じて、環境保全を図るために次の活動を行う。
 - ① 竹炭・竹酢液の製作とその環境保全への利用並びにその利用方法の研究
 - ② 竹を通じて里山の自然に接し、学校教育や地域の子供会行事等への支援活動
- 4 会員は上記活動のために、里山管理・竹林管理・竹細工などの基本を学び、作業を通じて技術の習熟と蓄積に努め、かつ会員相互の親睦を図る。

4つのお役立ち

1. 竹林整備活動を通じて、里山の環境保全にお役立ちする。
2. 地域奉仕活動を通じて、まちづくりにお役立ちする。
3. 竹細工教室を通じて、子供の健全育成にお役立ちする。
4. 会員に「やりがい」や「生きがい」の場を提供する。



目次

	ページ
はじめに.....	1
会報 8 号発刊に寄せて／堀口八幡市長.....	2
会報 8 号発刊に寄せて／京都府山城広域振興局.....	3
竹林整備活動.....	4
安全活動の取り組み.....	7
活動拠点の取り組み／男山展望台.....	8
数々の受賞.....	14
たけくらぶ主催三大イベント.....	17
竹細工体験教室.....	20
会員の親睦行事.....	25
2年間の活動内容と実績.....	28
マスコミ・報道(TV, 新聞, 他報道).....	32
八幡たけくらぶの沿革.....	37



はじめに

八幡たけくらぶは、2003年4月に発足し16年が経過しました。初年度28名からスタートした会員も今日では113名となり、現在では、会員も八幡市のみならず、近隣の市町村をはじめ奈良県、大阪府、遠くは熊本県、千葉県、栃木県、北海道にまで広がり、幅広い集団に発展してきました。

又、NPO 法人に認証され2019年1月で満10周年を迎えることが出来ました。これも地権者の方々や、行政関係者・報道関係者・文化協会関係者の皆様のご支援とご協力、更には会員相互の絶大なる協力の賜物であるといえます。改めて感謝申し上げます。



理事長 森脇 勉

「この2年間のトピックス」

私達の活動理念である「自然環境を守るべく」主たる竹林整備活動は、神應寺の竹林整備から始まりましたが、2018年9月に新しく円福寺竹林も加わり、7人の地権者の方々のご理解とご協力により活動拠点も今や8地域・13か所の竹林を任せ、面積も13ヘクタールを超えるまでになってきました。

2017年度には里山再生協議会が粉碎機を更新したのを機に、中古の粉碎機を譲り受け、自前の粉碎機を持つことが出来、展望台竹林の倉庫に設置することができました。

長年の課題でもありました「たけくらぶのロゴ」も、会員のデザイナーをされている息子さんのご協力で、男山と三川合流を表現したロゴが制定できました。(裏表紙に掲載)

この2年間で特筆すべき事として、亀岡市の「生涯学習賞・上田正昭賞」受賞や、オムロンの「京都ヒューマン賞」受賞など、対外からも活動を高く評価され、たけくらぶの認知度が一層広がりました。こうした事は、関係各位の皆様のご支援・ご協力の賜物と心から感謝申し上げる次第です。

2012年から大寅蒲鉾の小谷会長のご厚意によりお借りしている「展望の館」も2017年・2018年と2年続けて改修工事を実施しました。2017年8月には、和室の部分も土間に変更し椅子席にしたり、女性会員からの要望の強かったトイレも簡易水洗にしました。2018年には、和室の天井もやり替え、同時に照明もLEDライトに変更し、内装は見違えるほどになってきました。お陰で展望の館開館時には「竹細工体験教室」を開催し、展望台を訪れたお客様に喜んで頂いています。又、会員の親睦行事である「観桜会」、「五山送り火観賞懇親会」、「紅葉観賞懇親会」にも利用し、多くの会員に参加頂いています。広報の充実も図りHP委員会を設置し、HPも一新し内容も充実したものになってきました。

「会報の発行について」

会報は、たけくらぶ発足以来2年毎に製作してきていますが、ホームページの充実が図られてきたことや、ペーパーレス時代に合わせて今後は5年毎の節目に会報を作成していくことにしたいと考えています。長年親しまれてきた先輩の方々には、さみしさを感じられる点もあろうかと思いますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

次号の会報は2023年の創設20周年記念号として製作していきたいと思っております。

会報の役割は、我々の活動を後輩に継承していくと共に、対外に広め「環境保全」に役立つように活用してまいりたいと思っております。

会報8号発刊によせて



八幡市長
堀口 文昭

八幡たけくらぶ 会報第8号のご発刊おめでとうございます。また、NPO法人認証10周年をお迎えになられ、さらには昨年6月に公益財団法人京都オムロン地域協力基金主催の「京都ヒューマン賞」を受賞されましたこと、心よりお慶び申し上げます。

貴会は、平成15年4月に男山の自然環境を守り、竹と樹木が共生する里山の再生という志のもと結成され、これまで、男山散策路や展望台周辺環境整備をはじめ、貴会の活動拠点「展望の館」での竹細工の作製・販売など本市の観光振興にも大きく貢献していただいているところであります。

また、市内外の各種イベントでは、竹細工教室を通じ、子ども達の健全育成など、数々の地域奉仕活動にも積極的な取り組みをしていただいております。

当初5人で始められた活動も、今では本市のみならず他府県からも多くの方々が集われ、会員数は優に100人を超えていると伺っております。まちづくりの基本に「市民協働」をかかげる私といたしましては、とても頼もしく思っているところです。

さて、昨年は6月の大阪府北部地震を始めとして、台風などの自然災害に苛まれた1年でした。男山の散策路や展望台周辺も樹木や竹が倒れる被害に見舞われましたが、貴会には、風倒木等の処理作業など災害対策にもご尽力をいただきました。

災害への対応に万全はございませんが、本市といたしましても、さらなる対策を進めてまいりますので、これからもご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

平成31年は、市長二期目としての総仕上げの年であります。

自然災害に備え、市民のみなさまの生命と財産を守る「安心・安全」のまちづくりに向けて邁進していくとともに、市民の皆様と「幸」を感じられる魅力ある八幡の「まち」を「修理固成(つくりかためなせ)」としてまいりたいと考えております。

皆様の一層のご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、森協理事長を先頭に八幡たけくらぶの皆さんが、“たけ”を中心に、自然環境保全活動をはじめ、観光、地域交流など多方面の活動を更に展開されますことを祈念いたしまして、お祝いとさせていただきます。

八幡市長 堀口 文昭

会報8号発刊によせて



京都府山城広域振興局
農林商工部森づくり推進室室長
磯本 有朋

このたび、NPO法人八幡たけくらぶが、NPO法人認証10周年を迎えられましたことに心からお祝い申し上げます。

平素は京都府政の推進、とりわけ森林・林業施策に対し、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

八幡たけくらぶにおかれましては、2003年4月、5人の発起人から第1歩を踏み出され、現在113名の会員のもとに活動され、男山散策路周辺の景観維持等の竹林整備、竹炭・竹酢液の利用方法の検討、竹細工を通して学校教育など様々な活動にあふれんばかりの情熱で取り組まれていることに対しまして、敬意を表するものであります。

こうした八幡たけくらぶの活動は、平成29年8月に公益社団法人日本観光振興協会からの感謝状授与、平成30年2月に亀岡市生涯学習共生賞「上田正昭賞」、同年6月には公益財団法人京都オムロン地域協力基金「京都ヒューマン賞」を受賞されるなど、対外的にもその活動内容は高く評価され、皆様の御研鑽と御努力の賜物であることを、心からお祝い申し上げますとともに、今後とも一層御活躍されますことを期待しております。

京都府では平成18年から森林ボランティア団体や企業をはじめ、府民の皆様方により進める森林保全活動として「京都モデルフォレスト運動」に取り組んでおりますが、山城広域振興局管内でも平成30年度に2,000名を超える企業やボランティアの方々に参加いただいております。

京都府といたしましても府内の森林を守って行く上で、森林ボランティア活動は大変重要な活動だと考えており、「森林多面的機能発揮対策事業」などを活用して、その活動を支援していくとともに、八幡たけくらぶの皆様のお力も得ながら、府民の貴重な財産である森林資源を未来に継承していきたいと考えておりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

結びに当たりまして、八幡たけくらぶのますますの御発展と皆様の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



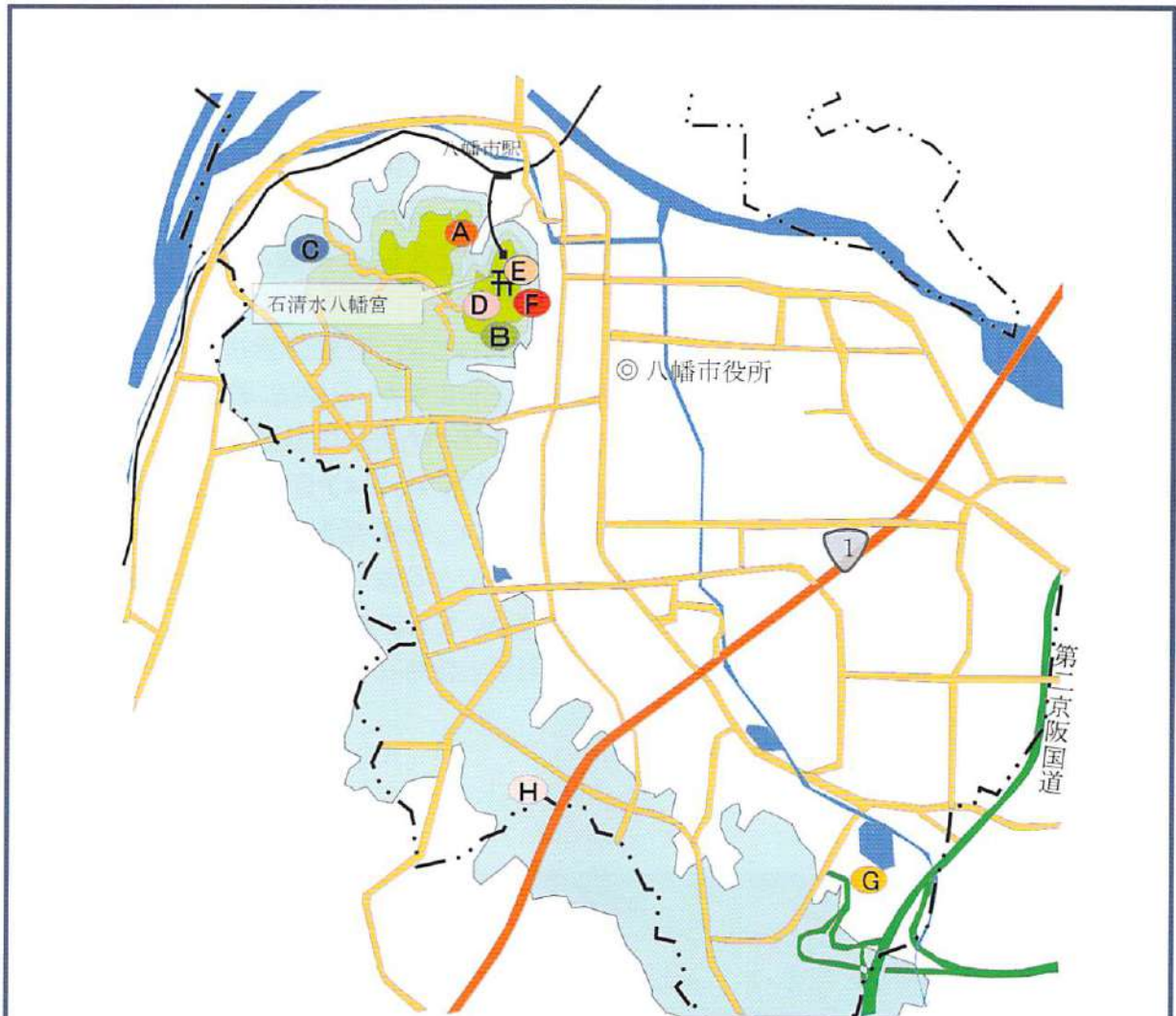


竹林整備活動

昨年(2018年)は、台風を初めとする自然災害の猛威で、森や里山の風景が一変する様な状況があちらこちらで見られました。八幡たけくらぶの活動拠点周辺の竹林でも多くの被害を受けました。

活動の原点である放置竹林の整備に加えて、被害を受けた竹林の樹木や竹を一日も早く整備することで、樹木林と竹林がバランスよく生育する本来の森や里山の姿を取り戻す取り組みを行っています。

八幡たけくらぶの竹林整備活動フィールド



	活動場所	活動開始	面積		活動場所	活動開始	面積
A	小谷F	2006年～	0.6ha	E	展望台F	2013年～	2.1ha
B	上林F	2007年～	2.0ha	F	本妙寺F	2014年～	0.4ha
C	島田F	2009年～	1.5ha	G	内里F	2016年～	2.9ha
D	石清水F	2011年～	0.8ha	H	円福寺F	2018年～	2.7ha
8地域						13 ha	

竹林整備活動

各フィールド(F)地権者のご支援と会員の協力で2003年より活動を始め、小谷F、上林F、島田F、石清水F、展望台F、本妙寺F、内里Fと活動範囲を拡大してきました。

活動も16年目を迎えた昨年には、新たに円福寺フィールドを加え今日では、竹林整備エリアは8地域、13ヘクタールに達しました。会員の高齢化が進む状況で竹林の効率的整備活動に向けて、これまでも増した取り組みと充実を図って来ました。

具体的取り組みは、

※フィールド増加に伴う月内活動日の見直し、定例活動日の固定化と雨天順延

※交付金、創造基金の有効活用による機械力の増強と安全活動の充実

粉砕機1台増設(2台)、チェーンソー増数(島田、展望台、内里、円福寺、各F 2台)

※モニタリングによる竹林整備前・後の見える化

今後も引き続き各フィールドの特徴を生かした竹林整備を行っていきます。

「台風21号(平成30年9月4日)被害状況」

最も被害が大きかった上林フィールド

展望台へ向かう参道



① 定例活動日の固定化 (2018年9月より)

F=フィールド

活動日	活動場所・内容	活動時間
1日	展望台定例整備活動	9:00~12:00 竹林整備:雨天中止の場合は、翌日に変更する
5日	上林・石清水F交互 定例竹林整備活動	
10日	円福寺F 定例竹林整備活動	
15日	島田F 定例竹林整備活動	
20日	本妙寺・小谷F交互 定例竹林整備活動	
25日	内里F 定例竹林整備活動	
30日	展望台F 定例竹林整備活動	
3~4日/月末	粉砕活動	

② 円福寺フィールド(2018年9月より)



① 森林山村多面的機能発揮対策交付金

交付金制度は、林野庁が森林の有する多面的機能(国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全等)を発揮させるため、地域の活動組織が実施する森林(竹林)の保全活動や山村地域の活性化に質する取り組みに対して交付金を交付されるもので2013年に開設されスタートしました。八幡たけくらぶは初年度から応募し2018年度まで6年間採択されてきました。

対象となる活動は、地域環境保全タイプとして、里山林保全と侵入竹除去・竹林整備のコースがあり、又、森林資源利用タイプや、森林空間利用タイプ、更には資機材・施設の整備があげられます。

八幡たけくらぶでは、この交付金で竹林整備作業に必要な道具類やヘルメット・安全靴等の安全対策にも活用させていただき以前と比較して大変活動がしやすくなってきたのに合わせて、会員の増加の要因にもなっていると思います。

② 京都地域創造基金

公益財団法人・京都地域創造基金は、地域のために活動する京都のNPO・市民活動団体の中から、第三者による厳しい審査で認証された団体を選んで一般に紹介し、応援したい事業やテーマを選んで寄付された方々に代わり支援することで、組織としての信頼性の担保や透明性の確保が組織基盤強化となり、今後の展開に良き成果としてつながることを目的に創られた組織です。

八幡たけくらぶは、事業指定寄付プログラムとして2011年度に初めて申請し採択され、2013年度には第三者認証を得ました。その後は毎年更新手続きを経て認証されています。

現在、会員を初め一般の方々からも寄付が毎年行われ、八幡たけくらぶの財政を助けているのも事実です。寄付された方は、確定申告により税制の優遇が受けられるものです。

③ モニタリングポイントの設置

2018年度より、各フィールド毎にモニタリングポイントを設置し整備前・後の状況を見える化することになりました。これは、交付金制度の一環で、交付金を活用した活動が森林の状態改善に寄与し、多面的機能発揮の向上につながっているか、数値化による説明を行うもので交付金審査の対象となります。

モニタリングの方法は、5メートル四方をロープで囲み整備前と整備後の状況を写真撮影し記録を残します。又、後日審査を受けます。

モニタリングポイントでの整備は、孟宗竹林15本・真竹林 20～25本を目処に整備します。

モニタリング実施状況



安全活動の取り組み

1. 安全委員会活動

竹林整備活動を安全に行うため、「安全委員会」の委員を軸として、各フィールドの担当責任者を決めて取り組んでいます。安全委員会は毎月開催し、前月の活動での問題点を討議し、対応策を決め次月以降の活動に反映しています。

主な議題と取り組み

- ① 各フィールドの年間整備計画提出(年度初め)
- ② ヒヤリ・ハット事例報告と対策の検討
- ③ 安全作業講習、エンジン機器講習、救急講習、粉砕機講習の計画と実施
- ④ 備品の管理、購入
- ⑤ 実施計画と前月のフォロー

チェーンソー取扱い講習



八幡消防署での救急講習



粉砕機取扱い講習



2. 日々の安全活動

- ① 活動に必要な備品、道具、機器は各フィールドの責任者が準備
- ② 朝礼の実施
- ③ 「安全作業の約束14ヶ条」の輪読
- ④ 毎月のヒヤリ・ハット事例報告と注意喚起
- ⑤ グループ作業の為の人数、区分け、班長の指名
- ⑥ 終礼の実施
- ⑦ ヒヤリ・ハット事例報告

この2年間の安全活動に於いて、ヒヤリ・ハット事例報告が29件有り、内3件については病院で治療を受け、ボランティア保険の給付を受けました。

2018年度は大きな台風が2度も来襲し、各フィールドも多くの倒木や竹の折れ、倒れが発生しました。その影響によって、安全作業の面でこれまで以上に危険な状況が見られたことから、ルールの見直し実行しました。例えばチェーンソー作業の増加に伴い、作業規則を見直し補助者1人との“ペア作業”への変更や各フィールドの作業道確保も安全且つ保全上重要事項と考え、新設、補修を適宜行いました。

事故発生は、トップ・ダウンだけでは防ぐことは出来ません。各会員の“安全対応の意識”、危険に対する想像力、事故気付き、適応力等が重要となります。

今後もこの“ヒヤリ・ハット事例報告”を活かし安全活動の意識向上に努め、災害“0”を目指して活動を行いたいと思います。

14ヶ条の輪読



活動拠点の取り組み

2年続けて実施した改修工事

2017年8月、2018年6月に展望の館改修・改装工事を行いました。

まず座敷をフラットな土間に、汲み取りトイレを簡易水洗に、そして竹細工販売棚を中央に設置し竹細工展示のひな壇を増設し販売コーナーは来訪者がスムーズに動ける動線としました。

土曜日、日曜日、祭日の開館日は会員が交替で竹細工販売やたけくらのPRを行っています。

庭園は倉庫を移転しその跡地に会員手製のテーブルと椅子を作り付け休息の設備を増やしました。

改修工事は、本職の方々の力と会員の知識と技術そして労力も大きく貢献しました。



座敷



工事中



土間に



動線を考慮したレイアウト



文字を浮かび上がらせた黒竹暖簾



販売棚の増設

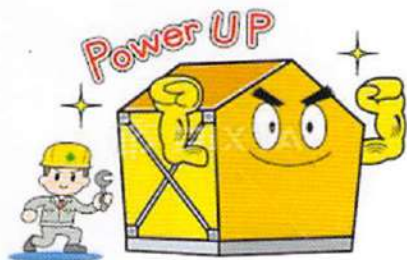


備品収納庫の改修

活動拠点の取り組み

2018年には更に家屋の耐震補強、エアコンの設置で展望の館で随時竹細工体験を受け入れる体制が整いました。また竹細工教室の材料づくりも屋内でできるようになりました。

耐震補強工事が終わった直後の6月18日朝最大震度6弱を観測した大阪北部地震が発生しましたが展望の館への被害はありませんでした。



燻し窯の小屋も雨除けの屋根がつき天候に左右されることなく燻し竹が作れるようになりました。この燻し窯の屋根も雨模様の中、多くの会員の協力により完成しました。



2018年5月鹿児島県伊佐市から燻し窯から燻し竹を作る過程について教示してほしいとの依頼訪問がありました。

展望台斜面の樁や雑木を刈り込み眼下に広がる木津川、宇治川、桂川の三川から視線を延ばすと京都タワーから比叡山、京都東山、城陽の山々の眺望が更に拡大しました。展望を遮る電線がありましたが八幡市の支援で高位から低位へと変更して頂き視野に電線が入らなくなりました。



活動拠点の取り組み

北倉庫の移設(2017年)

3日かけて展望台北倉庫を南倉庫横に移転させました。展望台庭園の展望ベストポジションにありました北倉庫を移し、跡地にはテーブルと椅子を設置し来園の方々にくつろいで頂く場所を拡大しました。

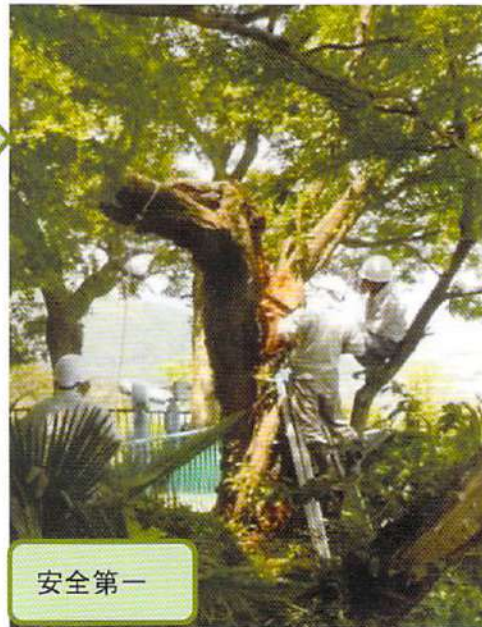


活動拠点の取り組み

2017・2018年は台風や地震に見舞われ、館の庇、展望台の桜、もみじ木の太い幹までが被害を受けました。臨時整備日を設けて飛び散った庇のトタンを拾い集め、折れた枝そして裂かれた幹の手当て屋根の点検など復旧に数日を要しました。館の地震災害は耐震工事を終えた直後の揺れでしたので幸いにも災害を免れました。



強風で割かれた幹



安全第一



台風 21 号で被害の庇



復旧しました



屋根に上がって点検・修復



2018 年台風 21 号は展望台への参道を倒木が塞ぎました



活動拠点の取り組み

展望台庭園整備

見晴らしが良くなった展望台庭園に多くの方が足を運ばれます。来訪者の安全確保は常に留意するところです。雨水での土砂流出や、木の根が地表に出て足元が不安全になります。折を見て砂利を入れて木の根を覆い転倒防止に努めています。

トンボ、カマキリ、蝶々、尾長鶏のオブジェの前での写真撮影は順番待ちです。鹿威しや枯山水を新たにしつらえますと子供達や外国の方々の興味の対象になりました。

台風で展望台樹木が倒れた際垣根が共倒れとなりましたが、新たな竹製垣根が出来上がりました。



砂利を入れ木の根を覆って転倒防止



鹿威



枯山水



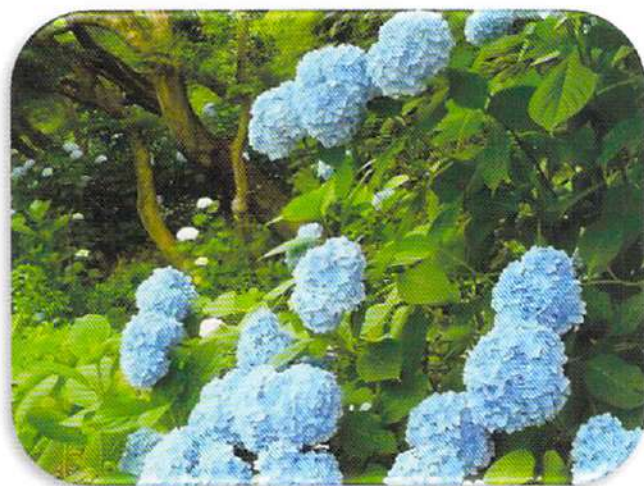
修復された竹製垣根

活動拠点の取り組み

桜、青モミジ、アジサイ、紅葉、シャガ、そして庭園からケーブルカー乗車の参道沿いに梅、つつじ、アヤメ、アジサイ、晩秋は皇帝ダリアと季節折々の花が楽しめるよう手を入れています。



花も実も楽しませてくれます



皇帝ダリアと柿

2019.11.15



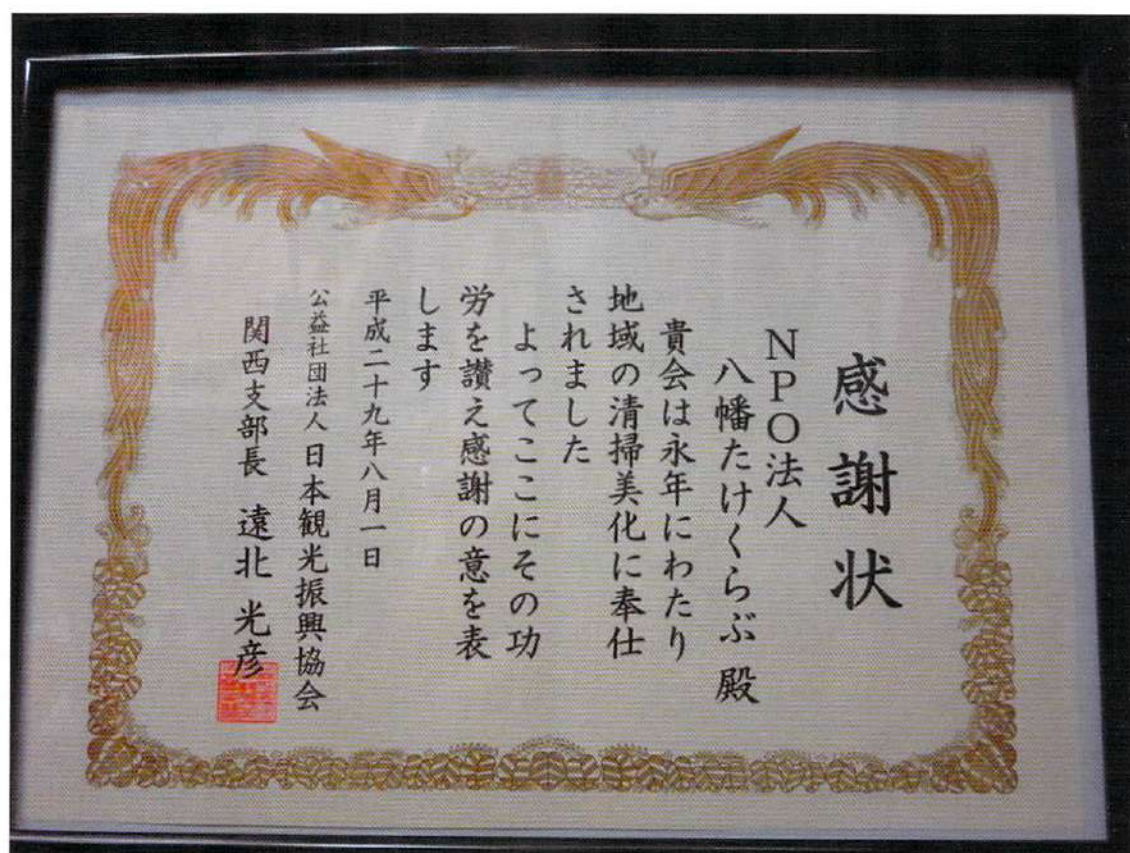
展望台紅葉

数々の受賞

自然環境の保全や地域への奉仕活動を基に竹林整備活動や青少年の健全育成に努力してきた私達の団体に対し、自治体や公益財団法人から2017年、18年と2年続けて表彰を受けました。中には全く予期しなかった表彰もあり、驚きと感激で大変喜ばしく思い、会員の皆様方の日ごろからの地道な努力が報われた結果だと確信します。

公益社団法人「日本観光振興協会」からの表彰

下記感謝状に記載されているとおり、地域の清掃美化に積極的に貢献した活動に対して、八幡市からの推薦を受け日本観光振興協会の関西支部から表彰を受けました。



生涯学習共生賞(上田正昭賞)を受賞！

亀岡市からの表彰

第17回生涯学習賞の贈呈式が2018年2月12日亀岡市で行われました。八幡たけくらぶは生涯学習賞の中の共生賞(第1回 上田正昭賞)を亀岡市より贈呈されました。この賞は、竹と樹木の共生のための活動を通じて自然環境を保全することを基本方針とした私たちの日ごろの活動に対して贈られたものです。こんな素晴らしい賞をいただくことは大変名誉な事であり、会員一人ひとりの大きな励みとなります。



● 第1部 贈呈式
 生涯学習大賞 『石田梅岩賞』
 山折 哲雄 様 (京都市)
 生涯学習共生賞 『上田正昭賞』
 特定非営利活動法人
 八幡たけくらぶ 様 (京都市府八幡市)
 生涯学習奨励賞
 吉中 康子 様 (亀岡市)



京都ヒューマン賞受賞！！

公益財団法人からの表彰(京都オムロン地域協力基金)

この京都ヒューマン賞は、京都府において地域福祉の向上、青少年の健全育成、生活環境・地球環境の整備等の分野での社会貢献活動を行い、顕著な功績を上げた個人もしくは団体に授与されるものです。八幡たけくらぶの活動はその条件に適合し、高く評価されました。贈呈式は2018年6月5日に京都リーガロイヤルホテルで行われ、たけくらぶからも多数出席しました。



三大イベント

一般公募・竹炭焼き体験

■2018. 3. 13～3. 14

延べ参加者77名（一般15名・会員62名）

於：男山レクリエーションセンター



三大イベント

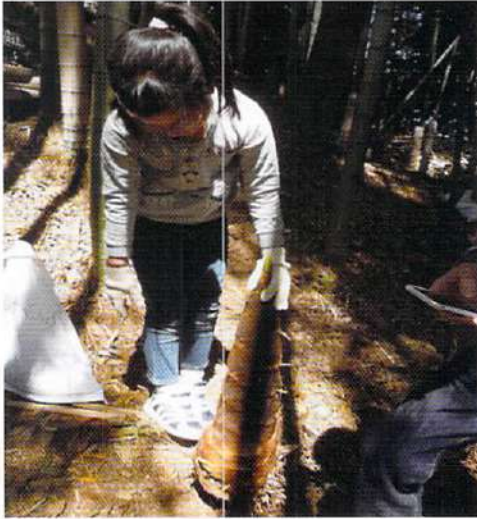
一般公募・竹林整備体験

【竹林整備・不法投棄ゴミ清掃回収・筍掘り体験】

- 2017.4.23 一般参加者38名 会員25名 於:展望台 F
- 2018.4.15 雨天中止



三大イベント



一般公募・若竹飾り作り体験

【青竹を利用して正月用若竹飾りの手作り体験】

■ 2017.12.22

一般参加者36名

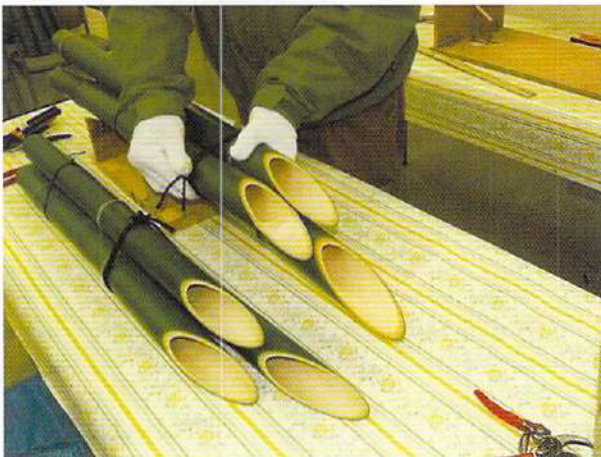
会員30名

於：八幡市民交流センター

■ 2018.12.23

一般参加者36名

会員27名



ミニ若竹飾り(高さ 30 cm)は 2017 年度より

竹細工体験教室

八幡たけくらの活動方針“学校教育や地域の子供会行事への支援活動”として、竹細工教室を通じて、子供たちの健全育成のため、活動をしています。

幼稚園、小中高校、大学校より依頼を受けての竹細工指導、また各地域の自治体主催のイベント等に参加して、広報活動と竹細工体験教室を開催し、子供から大人まで、たくさんの方々に参加していただきました。

竹細工教室で皆さんが作られる作品のいろいろ



カエルのストラップ



やじろべえ



ブンブンゴマ



ガリガリトンボ



ブンブンゼミ



風車



竹トンボ



竹コマ



ウグイス笛



ペン立て



あんぱんまんバッジ

幼稚園・小学校・高校・大学校の竹細工教室

★今池コミセン竹細工教室

場 所：今池コミセン城陽

実施日：2017/7/23 2018/7/22

作 品：親子カニ・カエルのストラップ

ガリガリトンボ



毎年夏休みに開催しています

★城陽東部公民館竹細工教室

場 所：城陽東部公民館

実施日：2017/8/8 2018/8/2

作 品：親子カニ・カエルのストラップ

ガリガリトンボ



★さくらクラブ学童竹細工教室

場 所：男山児童センター

実施日：2017/8/22

作 品：ガリガリトンボ・ブンブンゼミ

カエルのストラップ

夏休みの学童

100人が参加

しました



竹細工体験教室

★若葉サポート竹細工教室

場 所：展望台
実施日：2018/1/28
作 品：ガリガリトンボ

皆さん真剣に
製作中！！



★スマイルゲート八幡

場 所：展望台
実施日：2018/3/24 ・6/16 ・8/13 ・10/27
2019/1/19
作 品：やじろべえ・風鈴・ガリガリトンボ
ブンブンゼミ・カエルのストラップ
ブンブンゴマ・アンパンマンバッジ

身障者を対象に定期的に
竹細工体験教室を開催しています



★向日シニア竹細工教室

場 所：向日市福祉会館
実施日：2018/6/13
作 品：花瓶

お花を生けて
楽しめます



★橋本幼稚園竹細工教室

場 所：橋本幼稚園
実施日：2018/9/19
作 品：ウグイス笛・ガリガリトンボ
ブンブンゼミ

ブンブンゼミの
声に喜ぶ園児



★関西外国語大学イベント竹細工

場 所：展望台
実施日：2018/9/22
作 品：竹灯籠

大学生には電動工具
を使って竹灯籠作り



★木津高校竹細工教室

場 所：木津高校
実施日：2018/11/12
作 品：フクロウ笛・ウグイス笛

高校生には、最初の工程から作ってもらいました
日頃、物作りの経験がない人も、一生懸命に手を動かしていました

★枚方カブスカウト竹細工教室

場 所：展望台
実施日：2018/11/18
作 品：ブンブンゼミ

コスチュームが
可愛くて教室は
華やかでした



竹細工体験教室

★八幡第2幼稚園竹細工教室

場 所：八幡第2幼稚園
 実施日：2018/11/27
 作 品：ガリガリトンボ
 プンブンゼミ

園児たち
一生懸命



★住吉学区補導委員会竹細工教室

場 所：住吉小学校
 実施日：2019/1/26
 作 品：ひねりたけとんぼ・ブンブンゴマ

こりやかなか
むっかしわい



★八幡 第3幼稚園竹細工教室

場 所：八幡第3幼稚園
 実施日：2019/1/28
 作 品：ウグイス笛・ブンブンゼミ
 けん玉・ガリガリトンボ

年小、中、長とみんな一緒にガリガリトンボを作りました
 その後それぞれもうひとつ作って、2個 得意そうに喜んでいました



イベント参加の竹細工体験教室

★水辺の匠

場 所：ウオーターステーション琵琶
 実施日：2017/7/16・17、2018/7/21・22
 作 品：ガリガリトンボ・ブンブンゼミ
 カエルのストラップ・風車

夏休みに家族連れで楽しんでもらう体験イベント！！



★さくらであい館

場 所：さくらであい館
 実施日：2017/8/5 2018/8/25
 11/24 3/23
 作 品：ガリガリトンボ・ブンブンゼミ
 やじろべえ・花器・貯金箱
 ひねり竹とんぼ・カエルのストラップ



市政40周年記念七夕祭り(2017/8/5)



定期的に音楽コンサートなどイベントが開催されており
 たけくらぶも、竹細工体験教室を開催しています



竹細工体験教室

★うまいもん市

場 所： 頓宮

実施者： 2017/11/3

作 品： カエルのストラップ
ペン立て・写真立て

石清水八幡部町の頓宮で、八幡市を中心とする「うまいもん」や「おもしろもん」「すてきなもん」が集合！ たけくらぶは、竹細工販売と竹細工体験教室を開催

★八幡市民文化祭

場 所： 文化センター

実施日： 2017/10/29 2018/10/28

作 品： クワガタ・カニ・やじろべえ・風車
あんぱんまん・キティちゃんバッジ



その年の干支の竹細工販売は好評！！
子供から大人まで、大勢の方が竹細工体験されました



★京都環境フェスティバル

場 所： パルスプラザ

実施日： 2017/12/9-10 2018/12/8-9

作 品： やじろべえ・けん玉
ひねり竹とんぼ・ぶんぶん駒

環境について楽しみながら学ぶ、参加・体験イベント
毎年開催されており、竹細工体験コーナーにも大勢の人が
参加されました。また、パネル写真の展示や、パンフレット
を配布して、広報活動も行いました。



★山城 ハンブー・パルーン フェスタ

場 所： 京阪奈記念公園

実施日： 2018/8/11

作 品： ガリガリトンボ
カエルのストラップ
ブンブンゼミ

“子供たちに芝生広場で思いっきり遊んでもらいたい！！”と
夏休みの自由研究にもなる竹細工体験、そして、芝生広場
で、2万個の水風船を使って水風船合戦でフィナーレ
こども、大人も大奮闘！！



竹細工体験教室

★こども文化祭

場 所：文化センター

実施日：2017/12/10 2018/12/9

作 品：やじろべえ・カエルのストラップ

あんぱんまん・キティちゃんペンダント

子供達が日頃の練習の成果を発表する文化祭

来場者の子供たちに竹細工体験を開催

★枚方食農の会

場 所：農園 杉・五兵衛

実施日：2018/12/12

作 品：ブンブンゼミ

カエルのストラップ

食と農のつながりを学ぶ「体験農園」が主な活動！！

楽農祭が開催されて、イベント企画として、竹細工体験を開催、材料が不足するほどの大盛況ぶりでした



★HOTな冬遊び2018

場 所：淀川河川公園

実施日：2019/2/10

作 品：竹コッポリ・ガリガリトンボ

子供達に寒さに負けずに、思いっきり遊んでもらいたい！

竹ポッコリはお父さんの手を借りてノコで切って、作っていました
竹馬を見つけた親御さんは懐かしそうに、子供たちに乗り方を手ほどきしていました



凧揚げ



二人で竹伐り



竹馬のり



竹コッポリのり

★展望の館の開館日に、お客様を対象に
竹細工体験教室を始めました
(2018年3月より)

あなたも竹細工
やってみませんか！



会員の親睦行事

たけくらぶは折に触れ懇親会が開催されます。なかでも一泊研修旅行は八幡から離れ他の地域独自に継承されている竹の利用法や竹細工などの見聞を広げ会員の親睦を深める貴重な機会となっています。2006年から継続されています。

八幡たけくらぶ一泊研修旅行状況

年度	2006年 H18	2007年 H19	2008年 H20	2009年 H21	2010年 H22	2011年 H23
日程	8/31～9/1	9/3～9/4	9/1～9/2	9/28～29	9/27～28	9/26～27
宿泊先	芦原温泉	夕日が浦	伊勢・鳥羽	阿波温泉	羽合温泉	尾道・竹原
研修先	関電・越前 竹人形の里	小浜竹炭生 産組合	明和町あり んこ	うだつ 時代 や」	鳥取県庁 倉吉関金庁 舎	竹野駅
参加人員	25	24	26	21	19	21

年度	2012年 H24	2013年 H25	2014年 H26	2015年 H27	2016年 H28	2017年 H29	2018年 H30
日程	9/24～25	9/24～25	9/24～25	9/28～29	9/28～29	9/26～27	9/25～26
宿泊先	下呂温泉	和歌山 中津温泉	輪島・能登	倉敷・山陽	下呂温泉	淡路島 海上ホテル	龍野・ 赤とんぼ荘
研修先	岐阜 竹 炭救援隊	黒竹生産組 合・民芸品 日高町	輪島朝市 千里浜	津山民芸社 岡山城	妻籠 関ヶ原資料 館	杉本商店	梅玉旅館 かたしぼ竹
参加人員	31	28	36	38	36	35	34

*2012年よりマイクロバスから大型バスに変更

一泊研修旅行 2017年9月26日27日 行き先 淡路方面 35名参加
2018年9月25日26日 行き先 龍野方面 34名参加

2017年9月 淡路方面



杉本商店竹チップの商品化



大うず潮のタイミングでした



会員の親睦行事

2018年9月龍野



姫路 太陽公園 石の彫刻エリア で記念撮影



ヒガシマル醤油で驚き講義



かたしぼ竹

1月 新年会

2018年1月26日

会場 亀岡 烟河

55名参加

2019年1月31日

会場 枚方 一の谷

54名参加

2018年亀岡烟河



2019年枚方一の谷



会員の親睦行事

4月 観桜会 2017年4月7日 会場 展望の館 35名参加
 2018年4月4日 会場 展望の館 40名参加



2018年



2018年たけくらぶ創立15周年記念植樹

8月 五山送り火観賞会

2017年 展望の館改修中にて中止
 2018年8月16日 会場 展望の館 35名参加

左大文字



11月28日 日帰り研修旅行 2017年 34名参加
 洛西竹林公園竹又 中川竹材店京都伝統工芸館
 (紅葉観賞会を兼ねる)

2017年 日帰り研修旅行



12月 紅葉鑑賞会 2018年12月3日
 展望の館40名参加



2018年



2018年

2年間の活動実績

定例竹林整備・粉碎・同好会・イベント・会議・委員会等は省略

年度	月	活動項目	活動内容
2017	4	「わかばサポート活動」筍掘り	京都府警宇治署からの依頼、過去非行経験のある子供とその保護者をサポートする活動に協力(展望台F)
		一般公募竹林整備	竹林整備体験と不法投棄ゴミ回収・筍掘り(展望台F)
		会員パソコン教室スタート	八幡市活動センターで月1回開催(2017.4～2018.3迄)
	5	灯燎華	石清水八幡宮と協賛し、竹灯笼やモニュメントの製作・展示
	7	水辺の匠	ウオーターステーション琵琶で参加者に竹細工体験教室開催
		城陽・今池コミセン竹細工教室	夏休み中の子供たちに竹細工指導、「親子ガニ」を製作
	8	城陽・東部公民館竹細工教室	同上
		展望の館一部改修工事	畳敷きからコンクリート床へ変更し、動線・利便性の改善実施(工事期間は8月1ヶ月間)
		感謝状受賞	公益社団法人 日本観光振興協会関西支部が展望台周辺の清掃美化の取り組みを評価(八幡市商工観光課推薦)
		三川合流七夕まつり	八幡市市制施行40周年記念行事、七夕用笹の提供と竹細工指導(さくらであい館・背割り堤)
		桜クラブ学童竹細工教室	100名の学童に、ガリガリトンボとブンブンゼミ・カエル人形の竹細工指導(男山児童館)
		さざなみフェスト	毎年、太鼓橋付近で開催されており、竹資材を提供
		安全講習会	八幡市消防署の協力の下、安全救急(AED)講習会を受講
		9	石清水祭
	「世界竹の日」イベント		京都市勤業館みやこメッセで竹林ボランティアの情報交換
	10	お茶の京都博	八幡市から「お茶の京都博」イベント用に竹コップ300個提供受託
		すまいる八幡2017	台風で中止
		八幡市民文化祭	竹細工販売と竹細工体験教室(八幡市文化センター) (カニ・カブトムシ・クワガタ・からくり人形・けん玉)
	11	うまいもん市	石清水八幡宮・頓宮にて竹細工教室開催 「カエルのペンダント」「ペン立て」「写真立」「やじろべえ」
		展望台の電線引き下げ工事完了	関西電力の協力により展望台の眺望改善
		日帰り研修旅行	京都洛西竹林公園、中川竹材店、京都伝統工芸館(32名参加)
12	八幡こども文化祭	やじろべえ・カエルのペンダントの2種類の竹細工指導	
	京都環境フェスティバル	一般参加者287名/竹細工教室(けん玉・やじろべえ・ペン立て) (京都パルスプラザ)	

2年間の活動実績

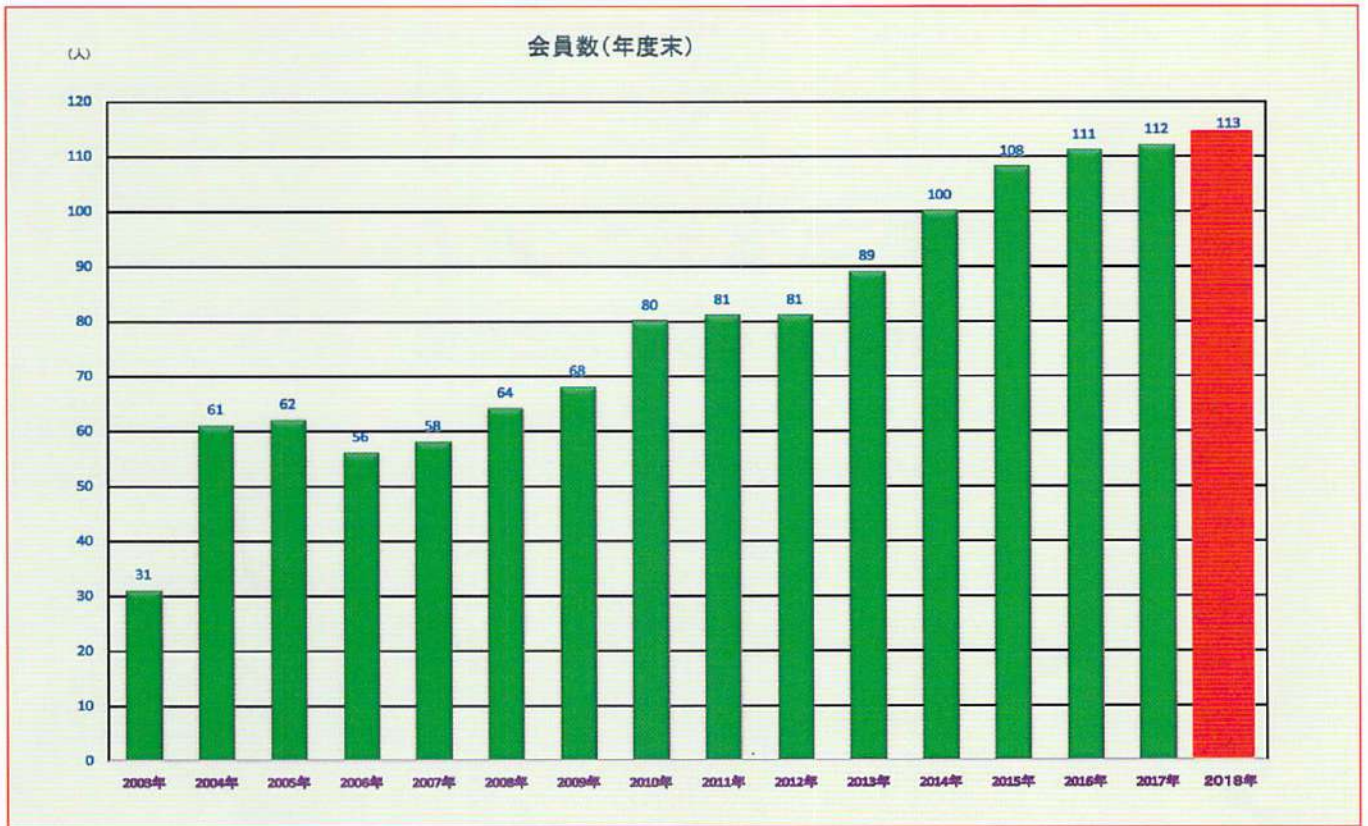
年度	月	活動項目	活動内容
2017	12	男山散策ルート整備活動	里山再生協議会事業に参加(男山レクセン)
		一般公募体験活動	若竹飾りの手作り体験教室開催(八幡市民交流センター)
		他団体との交流会	天理市のボランティア団体(30名) 鹿児島県伊佐市関係者(8名) (於:展望の館) 京都水辺保全ネットワーク(20名)
2018	2	生涯学習共生賞「上田正昭賞」を受賞	亀岡市が、環境と人間の共生分野で、「人づくり」「まちづくり」に貢献している個人或いは団体を対象に表彰
	3	一般公募体験活動	竹炭焼き体験39名参加・竹とんぼ大会同時開催(男山レクセン)
		「竹細工体験コーナー」を開設	一般の方を対象に展望の館で開催
	4	八幡市シニア大学で活動紹介	理事長がパワーポイントで講演(八幡市文化センター)
		八幡たけくらぶ発足記念	2003年発足以来、満15周年となる
		一般公募竹林整備	雨天のため中止(予定・展望台F)
	5	灯燎華	石清水八幡宮と協賛し、竹灯笼やモニュメントの製作・展示
		安全講習会	「竹林整備安全作業」について学習(展望台F)
	6	京都ヒューマン賞受賞	15年間に亘る竹林整備活動を通じて里山の環境保全に役に立つ取り組みが認められた(公益財団法人京都オムロン地域協力基金) (贈呈式:リーガロイヤルホテル京都)
		向日市シニアの会竹細工教室	燻し竹による花器と眼鏡立て竹細工教室(向日市福社会館)
		スマイルゲート八幡	竹細工教室開催(やじろべえとブンブンごま)
		男山散策ルート整備活動	里山再生協議会との共同事業(男山レクセン)
		展望の館一部改修工事	奥部屋の天井の張替え・照明器具の取換えと耐震工事実施
		たけくらぶ・ロゴマーク制定	三川合流と男山を竹で囲んだモチーフ
		大阪府北部地震発生	展望の館は耐震強化した為、建屋や展示の竹細工に損傷なし 但し、数名の会員宅で被害が続出した
	7	水辺の匠	ウォーターステーション琵琶にて竹細工教室
		城陽・今池コミセン竹細工教室	今年で7回目(2枚羽根ガリガリトンボとカエルのストラップ)
	8	城陽・東部公民館竹細工教室	今年で3回目(2枚羽根ガリガリトンボとカエルのストラップ)
		展望の館一部改修工事	全館冷暖房完備となり竹細工体験コーナーが更に使用しやすくなる
		やましろBBフェスト2018 (けいはんな記念公園)	山城青年会議所主催のイベントで竹細工教室開催、子供が多数参加 (ガリガリトンボ、カエルのストラップ、ブンブンゼミの製作指導)
		スマイルゲート八幡	竹風鈴の竹細工教室(展望の館)
		さくらであい館竹細工教室	ガリガリトンボ、ブンブンゼミ、カエルのストラップ、やじろべえの 4種類の竹細工教室開催
		さざなみフェスト	太鼓橋付近に竹灯笼50個設置
竹炭絵講習会スタート		会員を対象に月1回・講師は会員の中川さん(展望の館)	

2年間の活動実績

年度	月	活動項目	活動内容
2018	9	台風21号で被害多発	展望の館では建屋庇の一部が破損、庭園も荒れる。また展望台の紅葉や桜が途中から折れたり、各フィールドでは杉・檜が沢山折れて竹林に覆いかぶさる被害が続出した
		整備竹林の追加	円福寺フィールドが新たに追加された
		橋本幼稚園竹細工教室	園児たちに竹細工教室
		関西外国語大学・イベント	展望の館で竹細工体験教室を開催
	10	松愛会粉碎活動指導	竹粉碎機の操作ノウハウを指導
		スマイルゲート八幡	かざぐるまの竹細工教室(展望の館)
		八幡市民文化祭	竹細工販売と竹細工教室(やじろべえ&かざぐるま)
	11	京都府立木津高校竹細工指導	木津高へ出向いてふくろう笛、鶯笛の竹細工指導
		枚方カブスカウト竹細工教室	竹細工教室開催(やじろべえとブンブンごま)
		安全講習会	チェーンソーの実技講習会実施(円福寺F)
		さくらであい館竹細工教室	竹細工教室(ガリガリトンボ、ブンブンゼミ、鶯笛、やじろべえ)
		八幡市第2幼稚園竹細工教室	園児18名に竹細工教室(ガリガリトンボ、ブンブンゼミ)
		八幡市がアメリカ・オハイオ州 マイラン村と友好都市協定を締結	友好の記念品として、鈴入り竹編みストラップを製作し八幡市へ提供
	12	枚方食農の会	「枚方・杉五兵衛」にてやじろべえ、カエルのストラップ、ブンブンゼミの竹細工教室開催
		八幡こども文化祭	やじろべえとペンダント(アンパンマン、キティーちゃん)の竹細工
		京都環境フェスティバル	京都パルスプラザでひねり竹トンボ、ブンブンごまの竹細工指導とパネル展示を実施
一般公募体験活動		若竹飾りの手作り体験教室開催(八幡市民交流センター)	
2019	1	ホームページ・リニューアル	写真・スライドショーを多く取り入れ、レイアウトも刷新 (URL: http://www.ytc03.jp)
		スマイルゲート八幡	展望の館で竹細工教室(ブンブンごま)
		NPO法人化	NPO法人化認証、満10周年となる
		京都住吉小学校区補導委員会 竹細工教室	京都市立伏見住吉小学校の児童に竹細工指導 (ひねり竹トンボとブンブンごま)
		八幡市第3幼稚園竹細工教室	幼稚園児に竹細工教室 (ガリガリトンボ、ブンブンゼミ、鶯笛、けん玉の4種類)
	2	淀川河川公園・Hotな冬遊び	寒い中、竹馬・竹コッポリを製作(主催:淀川河川公園事務所)
3	さくらであい館竹細工教室	ひねり竹トンボ、ブンブンごま、花器、貯金箱の製作指導	

16年間の推移

■会員数の動向(年度別)



■活動回数と会員参加数の動向(年度別)



八幡たけくらぶの沿革

- 2003年 4月に任意団体「八幡たけくらぶ」として発足
- 2003年 八幡市民文化祭初参加、以後毎年参加
- 2004年 山桜救出大作戦開始(市民公募で実施)
- 2004年 こもれび散策ルートの南斜面に紅葉の苗木植樹
- 2005年 活動記録「会報1号」発刊
- 2005年 NHK テレビの収録と放送「西日本の旅」で紹介
- 2006年 一般公募による第5回竹炭焼きイベント開催
- 2007年 京田辺市の小学校で竹細工教室開催(4年生3クラス)
- 2008年 粉砕機導入による竹の粉砕活動開始
- 2009年 NPO法人として認証・設立
- 2010年 第5回一泊研修旅行開催(鳥取県庁訪問)
- 2012年 男山展望台に集会所「展望の館」を開設
- 2012年 NHK京都の「ニュース610」で実況中継される
- 2012年 京都環境フェスティバル初参加、以後毎年参加
- 2013年 八幡たけくらぶ発足10周年
- 2013年 全国レクリエーション協会より「奨励賞」を受賞
- 2014年 会員数が3桁に到達
- 2015年 展望台に花梅・ツツジ・皇帝ダリア・紫陽花を植栽
- 2015年 京都洛陽工業高校の模擬会社活動支援
- 2015年 第10回一泊研修旅行開催(津山民芸社訪問)
- 2016年 燻竹同好会発足。整備竹林13ヶ所に拡大
- 2017年 日本観光振興協会関西支部から感謝状
- 2017年 活動記録「会報7号」発刊(発足以来2年毎に発刊)
- 2017年 里山再生協議会からの中古粉砕機購入により2機で粉砕開始
- 2018年 八幡たけくらぶ発足15周年
- 2018年 亀岡市より生涯学習共生賞「上田正昭賞」を受賞
- 2018年 財団法人京都オムロン地域協力基金より京都ヒューマン賞受賞
- 2019年 NPO法人として認証・設立10周年
- 2019年 活動記録「会報8号」発刊



--編集委員(五十音順)--

奥原 千代子、甲村 孝昭、小林 喜美代、竹下 修史、坪倉 定、森脇 勉

発行日	2019年5月
発行責任者	特定非営利活動法人 八幡たけくらぶ 理事長 森脇 勉
住所	京都府八幡市八幡平ノ山85(男山 展望の館)
電話番号	075-982-3695
Email	ytic2016@cap.ocn.ne.jp (八幡たけくらぶ)
URL	http://www.ytc03.jp/

